

AFP		2142000			
AFP		担当部署			
AFP		生化			
<b>検査オーダー</b>					
患者同意に関する要求事項		特記事項なし			
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*1.頻用→			
	2	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→腫瘍マーカー・内分泌→			
	3				
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報		特記事項なし			
検査受付時間		8 : 15 ~ 16 : 00			
<b>検体採取・搬送・保存</b>					
患者の事前準備事項		特記事項なし			
検体採取の特別なタイミング		特記事項なし			
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位	
1	全血	10 青	分離剤	8	mL
2	他材料	10 青	分離剤	8	mL
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
検体搬送条件		室温			
検体受入不可基準		1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物 4)粘性のある検体			
保管検体の保存期間		冷蔵・2週間(追加検査については、検査室に要問合せ)			
<b>検査結果・報告</b>					

検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部				
測定時間		当日中～翌日				
生物学的基準範囲		7.0 ng/mL 以下 エクルーシス 試薬 AFPⅡ 添付文書				
臨床判断値		設定なし				
基準値					単位	ng/mL
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
0	7	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	
パニック値	高値	設定なし				
	低値	設定なし				
生理的変動要因		特記事項なし				
臨床的意義		<p>α-フェトプロテイン(AFP)は、胎児肝およびヨークサック(卵黄嚢)で産生される胎生期特有の血清蛋白である。</p> <p>出生直後には血中で 10,000ng/mL 前後の高値を示すが、その後速やかに減少して健常小児・成人には 10ng/mL 以下の極めて低濃度にしか存在しない。</p> <p>AFP は一次構造においてアルブミンとの間に 39%の相同性を有し、種々の物質の生体内輸送や脂肪酸代謝への関与が推定されている。</p> <p>Abelev および Tatarinov が肝細胞癌において血中 AFP が増量することを見出して以来、その腫瘍マーカーとしての有用性は高く評価されている。</p> <p>三菱化学メディエンス 検査項目解説改訂第 4 版 316,2008</p>				